

科目名	流通システム論	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済学科	□必修 ■選択	
			学科	□必修 □選択	
英文表記	AN INTRODUCTION TO MODERN DISTRIBUTION MANAGEMENT	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	あべ ときお	実務家教員 担当科目		修得単位	2単位
担当者名	阿部 時男	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	流通システムにおける情報システムの役割				
到達目標	流通システムの基本とグローバル企業環境の中でどうすれば流通の最適化を図ることができるかを理解する				
授業概要	現代の「流通システム」を理解する上で欠かせない経営環境の変化とそこから生じる課題、そして解決のための経営情報戦略について卸売業の実例をもとびき学習する。また、理解を深めるために図やグラフの教材を出来るだけ多く用いて実践的な学習をする。				
授業計画					
第1回 流通システムとは（流通の機能など）					
第2回 流通システムとは（流通と高度情報化）					
第3回 流通システムとは（流通構造の変革）					
第4回 経営環境の変化（需要変動とタイムラグ、計画と実績の差異、タイムラグとブルウィップ効果）					
第5回 経営環境の変化（流通経済構造のパラダイムシフト、大量システムの問題点、）					
第6回 卸売業とビジネスモデル					
第7回 卸売業と流通情報化					
第8回 卸売業の基本戦略（加工食品1）					
第9回 卸売業の基本戦略（加工食品2）					
第10回 卸売業基本戦略（日用雑貨1）					
第11回 卸売業基本戦略（日用雑貨2）					
第12回 流通 VAN の役割					
第13回 ロジスティクスを支える IT ソリューション 例：花王化粧品販売 EDI／EC					
第14回 QR（クイック・レスポンス）とECR（コンビニエンスストアの例）への発展					
第15回 QRとECR（ウォルマートの例）					
第16回 期末試験					
授業時間外の 学習	普段、新聞やテレビ等で報道される日本のもの作りや流通をテーマとする記事や番組に慣れ親しむこと。				
履修条件 受講のルール	経営学関連科目、情報処理関連科目を履修しておくこと				
テキスト	OH プリント教材（配布）				
参考文献・資料	宮下淳，他著『流通ビジネスモデル』中央経済社、市原武政 他『1からの流通論』碩学舎、田中一成著『図解・生産管理』（基本からSCM，ERPまで）、実教出版、				
成績評価の方法	授業態度、課題レポート、期末試験、欠席4回以上は認定対象外とする。 出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができない。				
オフィスアワー	毎週水曜日午前中				

成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
学生への メッセージ	実例についての図柄教材を取り入れ解りやすく講義を進めてゆく。授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。